



教育目標

よりよい未来を創り出そうとする児童の育成

なりたい自分・仲間・学校に成るためにチャレンジ

めざす学校像

- 子どもたちが学校生活を楽しいと感じ、ともに育ち合える学校
- 常に子どもファーストで考え、教職員が協働して子どもの成長を支える学校
- 家庭や地域の信頼に応える学校

めざす児童像

- なりたい姿に向かってチャレンジできる子
- 自分や友達のがんばりや成長を見つけたり、応援したりできる子
- 自分で考えてすすんで行動(学習)できる子
- 他者と話し合い、問題を解決したり、新しい考えを生み出したりできる子

めざす教師像

- 失敗や違いを宝物とし、子ども一人一人のがんばりや成長を適切に見取り、価値づけられる教師
- 愛情のある指導ができる教師
- 授業で子どもの力を高められる教師
- 子どもを信じて、待てる、任せられる教師

今年度の重点(取組等)

確かな学力の育成

- 各教科における「資質・能力」と学習の基盤となる「資質・能力」の育成
1. 学びや成長を実感できる授業の実現
    - ・自分の学びや変容を自覚し、意欲の持てる授業づくり
    - ・学校研究、若プロ研修を通しての授業の質的改善(「教師が変われば授業が変わる、授業が変われば子どもが変わる」)
  2. 基礎基本の定着
    - ・組織的な推進(学校カロードマップ)
    - ・帯タイム、家庭学習の工夫
    - ・学習規律の共通実践
    - ・読書活動の充実(質と量)
  3. GIGA スクール構想の推進
    - ・学習用端末を活用した効果的な授業の推進
  4. 総合的な学習の時間の充実
    - ・SDGs教育、キャリア教育の推進
    - ・児童の「~したい」を大切に探究活動の設定

豊かな人間性・社会性の育成

- 自ら考えよりよく判断し行動する力、互いに助け合い協力しようとする力の育成
1. いじめ・不登校への組織的対応
    - ・定期的な調査、きめ細かな見取り、家庭・専門機関との連携、全校での情報共有
    - ・遅刻・欠席児童や問題への組織的対応
  2. 自己肯定感を高める取組の充実
    - ・生徒指導の4視点を生かした授業づくり
    - ・「なりたい自分」に向けてチャレンジする場の設定(OUTPUTする場の設定)
  3. 当たり前行動の育成
    - ・あいさつ、言葉遣い、自他を大切に
  4. 自主的な集団づくりの推進
    - ・縦割り活動など「楽しい交流」の場の設定
    - ・学級活動の推進(学級目標を軸に)
    - ・「学校会議」のシステムの構築と推進

健やかな身体の育成

- 健康、体力向上、安全を考え、適切に対応できる心とたくましい身体の育成
1. 基本的な生活習慣の確立
    - ・家庭との連携、発信(メディアコントロール)
    - ・規則正しい生活習慣の確立
  2. 体力・運動能力の向上
    - ・体幹の強化(姿勢)
    - ・一校一プランの共通実践による課題の克服
  3. 命を守る取組の推進
    - ・自己管理能力の育成
    - ・学校安全、交通安全
    - ・避難訓練等による危機対応の推進
    - ・アレルギー、熱中症等に対する組織的対応

みんなでやりきる  
継続と工夫

働き方改革

- ・校務の効率化(校務支援システムの有効活用)
- ・行事、日課表、カリキュラムの見直し
- ・校務の分担、平準化
- ・給食時間の有効活用

家庭・地域との連携

防犯・安全対策・挨拶運動・基本的な生活習慣と家庭学習の定着・授業参観(学校公開)  
メディア対策・情報発信(ホームページ、各種たより等)・学校評価・保小連携・小中連携・近隣高校との交流